

平成30年度 (高校・高専)
河内長野市奨学生応募手続きについて

資 格 経済的理由のために、高等学校・高等専門学校への修学が困難な市内在住の方。(※住民税非課税世帯及び罹災、保護者死亡など特別事情のある世帯)
なお、応募申請及び給付決定は一年ごとです。

※住民税非課税世帯のうち生活保護世帯については、高等学校就学費が支給されているため、平成18年度から応募資格がなくなっています。

※奨学金の給付は原則3年間（または5年間：高専・看護専攻科等）です。

応募方法 次の書類を提出してください。

① 奨学金給付願書

② 在学証明（上記奨学金給付願書中下段にあります。）

③ 奨学生応募理由書

※ 河内長野市奨学金申請に必要な世帯全員の住民票の写し及び所得証明書につきましては、教育指導課にて各担当課へ請求しますので提出は不要です。

※ 給付願書（在学証明含む）、応募理由書は、教育委員会教育指導課にあります。（5月7日から配布します。）

受付期間 平成30年6月1日（金） ～ 平成30年7月2日（月）
（上記期間内に提出してください。期間を過ぎますと受付ができません。）

選 考 奨学生の選考は、奨学生選考委員会で審査した後、市教育委員会が選考し、8月中旬以降に選考結果を書面で通知します。

なお、奨学金36,000円（月額3,000円）は、平成30年9月と、平成31年3月の二期に分けて給付します。

書類の提出先及び問い合わせ先

河内長野市教育委員会事務局 教育指導課

〒586-8501

河内長野市原町一丁目1番1号

TEL 0721（53）1111 内線759・762

(高校・高専)

平成 3 0 年 度 奨 学 金 給 付 願 書

No. _____

本 人	ふりがな 氏 名				男 女	進学先 学校名	(第 学年)		
	生年月日	平成 年 月 日生				出身 中学校	河内長野市立 中学校		
	現 住 所	〒586-□□□□ 河内長野市 (TEL) (携帯)							
保 護 者	氏 名				現住所	〒586-□□□□			
	本人との 続 柄		職業		勤務先				
同 居 家 族 の 状 況	氏 名	続柄	年令	勤務先 (学校名)		平均月収	備考		
		本人							
生活保護について		受けている・受けていない			児童扶養手 当について		受けている・受けていない		
奨学生を希望する理由 _____ 別紙理由書のとおり _____									
上記の事情により、河内長野市奨学金を給付くださるようお願いします。 また、奨学生の資格については、必要に応じて調査されることに同意します。 平成 年 月 日 本人氏名 印 保護者氏名 印 (宛先) 河内長野市教育委員会									
上記の者は、当校に在学していることを証明します。 平成 年 月 日 学校長 印 (宛先) 河内長野市教育委員会									

河内長野市奨学生応募理由書

本人氏名（ ）

保護者氏名（ ）

◎現在(平成30年6月)該当する部分について、()内へ記入または○で囲んでください。

・ **全員記入** 直近の世帯月収合計(年 月 税込約 円)

・ **全員記入** 平成29年の住民税は(非課税 ・ 課税 ・ 課税者と非課税者の混合世帯 ・ 不明)

◇以下該当する部分にご記入ください。

・ 主に生計を担っていた者が死亡した。

続柄() 時期(年 月) 現在の生計は主に()が担っている

・ 主に生計を担っていた者が失業または休職中である。

続柄() 時期(年 月から) 失業給付(受給中 ・ 受給無し)

・ 主に生計を担っていた者が長期にわたって入院または家庭療養中である。

続柄() 時期(年 月から) 医療費月額約()円

・ 主に生計を担う者が過去1年以内に退院したが、後遺症や障がいのため就労に影響がある。

続柄() 概要()

・ 過去1年以内に災害や火事・事故・事件等で大きな被害を受けた

時期(年 月) の被害をうけた)

住居損壊の状況()

現在の居住状況()

・ 過去1年で世帯の経済状況が悪化した。

世帯収入の減少(昨年月額税込約 円→今年月額税込約 円)

医療費の増加(昨年月額約 円→今年月額約 円)

その他、経済的に困窮している状況

※この理由書の内容については、奨学生選考の目的以外には使用いたしません。

河内長野市奨学生応募理由書

見本

注意：記述内容は架空のもので、また
各内容に互いに関連性はありません。

本人氏名（ 例野 例子 ）

保護者氏名（ 例野 写子 ）

◎現在(平成30年6月)該当する部分について、()内へ記入または○で囲んでください。

・ 全員記入 直近の世帯月収合計(3 0 年 5 月 税込約 1 4 万円)

・ 全員記入 平成29年の住民税は(非課税 ・ 課税 ・ 課税者と非課税者の混合世帯 ・ 不明)

◇以下該当する部分にご記入ください。

・ 主に生計を担っていた者が死亡した。

続柄(父) 時期(3 0 年 2 月) 現在の生計は主に(叔母)が担っている

・ 主に生計を担っていた者が失業または休職中である。

続柄(兄) 時期(3 0 年 3 月から) 失業給付(受給中 ・ 受給無し)

・ 主に生計を担っていた者が長期にわたって入院または家庭療養中である。

続柄(母) 時期(3 0 年 4 月から) 医療費月額約(8 万)円

・ 主に生計を担う者が過去1年以内に退院したが、後遺症や障がいのため就労に影響がある。

続柄(父) 概要(脳梗塞の後遺症で片麻痺があり、軽作業しかできない。)

・ 過去1年以内に災害や火事・事故・事件等で大きな被害を受けた

時期(3 0 年 5 月) 自宅近所の〇〇工場の爆発により大きな被害をうけた。)

住居損壊の状況(全焼のうえ化学物質で土地が汚染され、再建もできない状態。)

現在の居住状況(叔母宅に仮住まいしている。)

・ 過去1年で世帯の経済状況が悪化した。

世帯収入の減少(昨年月額税込約40万円→今年月額税込約14万円)

医療費の増加(昨年月額約5千円→今年月額約9万円)

その他、経済的に困窮している状況

- ・ 父が行方不明になり、残された病弱の母のアルバイト収入で暮らしている。
- ・ 父が知人の借金の保証人になっており、毎月約25万円の返済がある。
- ・ 父が詐欺に遭って自宅と預金を失い、精神的にも不安定で定職につけていない。
- ・ 母の再婚相手が養育費を払わないので、未成年の兄と二人で暮らしている。

※この理由書の内容については、奨学生選考の目的以外には使用いたしません。

できるだけ詳しく記入してください。